

取扱説明書



※ この機器には、デモ・フレーズ (90 ~ 99) が収録されています。
一度消去してしまうと元に戻すことはできません。
最初に『パソコンにバックアップする』(P.15)の手順でバックアップしてください。

※ この機器は、最後の操作、または音声入力から停止状態のまま 10 時間経過すると、スリープ・モード (低消費電力状態) になります。
スリープ・モードに入らない設定にするには左ペダルを押しながら電源を入れ、そのまま 5 秒間左ペダルを押し続けてください (P.17)。

主な特長

ようこそ、ループ・ステーションへ！

RC-30 は、ギターやボーカルなどのオーディオ・フレーズをレコーディングして、ペダル操作で再生できるペダル・タイプのレコーダーです。リアルタイムに録音/再生をしながら音を重ねていくことで、さまざまなパフォーマンスができます。

- 最大 99 種類のループ・フレーズを、最長で約 3 時間 (※ 全フレーズの合計) まで、フレーズ・メモリーに保存することができます。
- マルチ・トラックによる多彩な表現ができます。
- ステレオで音声入力を行うことができます。
- ギター入力のほか、MIC 端子、AUX IN 端子も装備しました。マイクをつないで声をループ録音したり、デジタル・オーディオ・プレーヤーの音を録音したりすることができます。
- 録音したフレーズを USB でパソコンにコピーしたり、パソコンの WAV ファイルを RC-30 に読み込んでループ・プレイしたりすることができます (P.14)。
- 再生するフレーズに、テンポに合わせたエフェクトをかけることができます (P.14)。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に別紙の「安全上のご注意」と「使用上のご注意」をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

目次

主な特長	1
電池の入れかた	3
各部の名称とはたらき	4
電源を入れる	7
基本操作	8
フレーズ・メモリーを選ぶ	8
カレント・トラックを選ぶ	8
録音	8
ワン・ショット再生	9
オーバーダビング	9
ループ再生	9
停止	9
フレーズを保存する	10
フレーズを消去する	10
フレーズの再生/停止方法の設定 (ストップ・モード/ワン・ショット再生)	10
オーバーダビングを取り消す (アンドゥ/リドゥ/トラック・クリア)	11
オート録音/カウント・イン録音機能	11
リズムについて	12
リズム音を鳴らす	12
テンポを設定する	12
リズム・タイプを設定する	12
拍子を設定する	13

LOOP FX を使う	14
LOOP FX をオン/オフする	14
LOOP FX タイプを設定する	14
USB でパソコンにつなぐ	14
外部フット・スイッチをつなぐ	16
FS-5U を 1 台つないだ場合	16
FS-5U を 2 台、または FS-6 をつないだ場合	16
その他の設定	17
スリープ・モードについて	17
スリープ・モードに入らないように する	17
スリープ・モードを使用する (初期値)	17
録音→オーバーダビング→再生の切り替 え順を変更する	17
本体メモリーをフォーマットする	17
本体ペダルの操作を簡単にする	18
トラブル・シューティング	18
エラー・メッセージ一覧	19
その他の画面表示一覧	19
主な仕様	20

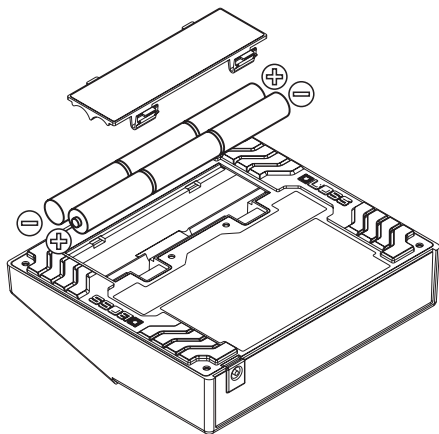
- ・第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイルデータ、伴奏パターン、フレーズデータ、オーディオループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツを素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピュータネットワークを通じて公開したりすることはできません。


- ・BOSS、Loop Station は、日本国およびその他の国におけるボス株式会社の商標または登録商標です。
- ・文中記載の会社名及び製品名は、各社の登録商標または商標です。
- ・本書では Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ・MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- ・SD ロゴ (SD) および SDHC ロゴ (SDHC) は SD-3C, LLC の商標です。
- ・本製品には、イースン株式会社のソフトウェア・プラットフォーム「eCROS™」が搭載されています。
- ・株式会社ユアネームのデジタルフォントを使用しています。デジタルフォントの著作権は株式会社ユアネームにあります。

©2011 ボス株式会社 本書の一部、もしくは全部を無断で複製・転載することを禁じます。

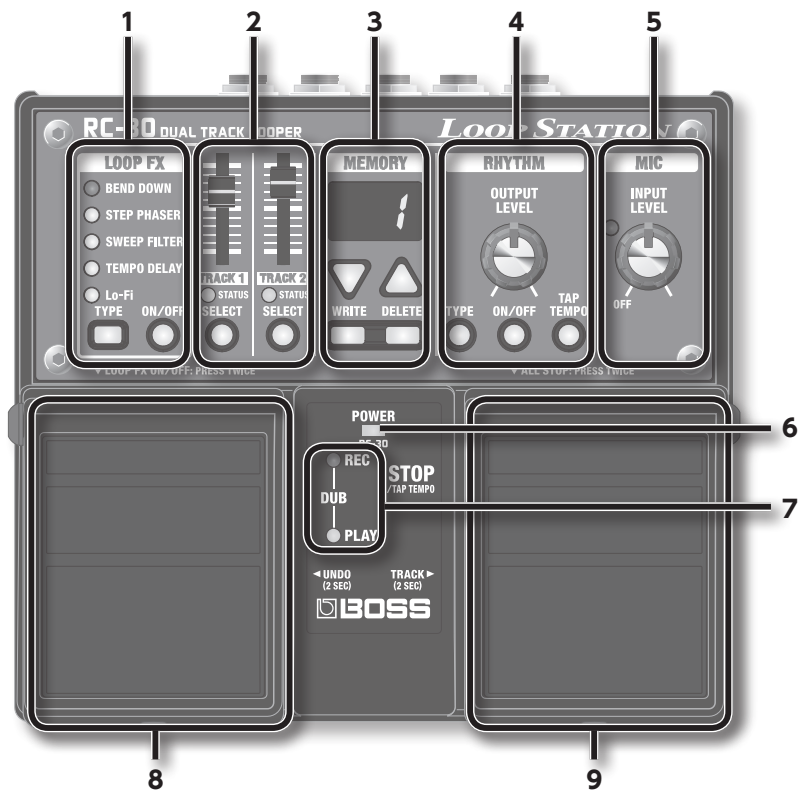
電池の入れかた

図のように、電池の向きに注意して付属の電池を入れます。



- 電池は、間違った使いかたをすると、液もれ、発熱、発火、破裂などの危険があります。ご使用前に、電池に付属の注意事項を必ず最後まで読み、注意事項を守って正しくお使いください。 
- 付属の電池は機器の動作確認用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池の+（プラス）と-（マイナス）を間違わないように入れてください。
- 本体を裏返す際は、ボタン、つまみなどを破損しないように、新聞や雑誌などを重ねて本体の四隅や両端に敷いてください。また、その際、ボタン、つまみなどが破損しないような位置に配置してください。
- 本体を裏返す際は、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いにご注意ください。
- 電池が消耗してくると、ディスプレイに「bE」と表示され、POWERランプが暗くなります。その場合は早めに新しい電池と交換してください。
- この機器は消費電流が大きいため、ACアダプターの使用をお勧めします。電池で使用する場合はアルカリ電池（単3形）を使用してください。
- 録音中やオーバーダビング中などに電池が切れると、保存していたデータがすべて失われることがあります（P.7）。
- 電池交換の際は、単3電池を6本使用してください。
- 電池交換では本体メモリーは消えませんが、念のため定期的にバックアップ（P.15）をとることをおすすめします。

各部の名称とはたらき



名前	説明	ページ
1	LOOP FX	P.14
	[TYPE] ボタン	
2	[ON/OFF] ボタン	LOOP FX をオン/オフします。
	TRACK 1 / 2	再生するフレーズの音量をトラック別に調節します。
	[TRACK 1] / [TRACK 2] スライダー	
STATUS ランプ	トラック 1 / 2 が録音、再生状態のときに点灯します。停止中はトラックにデータがある場合は点滅、データがない場合は消灯します。	P.8
	[SELECT] ボタン	

名前	説明	ページ	
MEMORY			
3	ディスプレイ	現在のフレーズ・メモリーの番号や、さまざまな情報を表示します。	P.19
	[▼] (DOWN) / [▲] (UP) ボタン	ディスプレイに表示されている数字を増減します。	P.8
	[WRITE] ボタン	録音したフレーズを本体メモリーに保存します。	P.10
	[DELETE] ボタン	本体メモリーのフレーズを削除します。	P.10
	RHYTHM		
4	[OUTPUT LEVEL] つまみ	リズム音の音量を調節します。	P.12
	[TYPE] ボタン	リズム・タイプを設定します。	
	[ON/OFF] ボタン	リズム音をオン/オフします。	
	[TAP TEMPO] ボタン	ボタンを押すタイミングでテンポを設定します。	
MIC			
5	[INPUT LEVEL] つまみ	MIC IN 端子からの入力レベルを調節します。一番左に回すと、マイク入力をオフにします。	P.6
	PEAK ランプ	入力レベルが基準より大きくなると点灯します。マイクに向かって最も大きな声で歌ったときに、PEAK ランプがときどき点灯するようにするように、[INPUT LEVEL] つまみを調節してください。	
6	POWER ランプ	電源がオンのとき、点灯します。	P.7
REC, PLAY ランプ			
7	REC (赤) ランプ	録音時に点灯します。	P.8
	PLAY (緑) ランプ	再生時に点灯します (フレーズ・メモリーの読み込み、本体メモリーの操作中：高速点滅)。 オーバーダビング時は REC (赤) ランプと PLAY (緑) ランプが同時に点灯します。	
左ペダル			
8	録音／オーバーダビング／再生の切り替え	空のフレーズの場合：録音→オーバーダビング→再生 データがあるフレーズの場合：再生→オーバーダビング	P.8
	アンドゥ／リドゥ	再生中／オーバーダビング中に左ペダルを2秒以上踏むとアンドゥ (録音、または最後のオーバーダビングを取り消し) します。もう一度左ペダルを2秒以上踏むとリドゥ (取り消した音を復活) します。	P.11
	LOOP FX のオン/オフ	2回連続で踏むと LOOP FX をオン/オフします。	P.14
右ペダル			
9	停止	現在オーバーダビング／再生中のトラックを停止します。	P.9
	オール・ストップ	2回連続で踏むと、2つのトラックを同時に停止します。	
	タップ・テンポ	停止中に右ペダルを連続して踏むと、ペダルを踏むタイミングでテンポを設定します。	P.12
	トラックの切り替え	右ペダルを2秒以上踏むと、選択しているトラックを切り替えます。	P.8

※ 右ペダルを踏みながら左ペダルを踏むとトラック・クリアすることができます。

各部の名称とはたらき

AUX IN 端子

オーディオ・プレーヤーなどをステレオ・ミニ・プラグでつなぎます。

オート録音機能 (P.11) を使うと、オーディオ・プレーヤーの再生と同時に録音を開始することができます。



USB 端子

市販のUSBケーブルでパソコンにつないで、RC-30のフレーズ(WAVファイル)をパソコンで読み/書きします(P.14)。

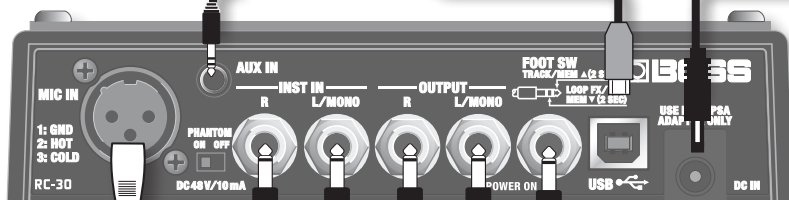


DC IN 端子

ACアダプター (BOSS PSA-100 : 別売)をつなぎます。

電池が入っている状態でACアダプターをつなぐと、電源はACアダプター側から供給されます。

※ ACアダプターは、必ず指定のもの (PSA-100) を、AC100Vの電源で使用してください。



INST IN 端子

ギター、ベースやエフェクターをつなぎます。

ステレオ出力のエフェクターをつなぐときはL端子とR端子を、モノラルで使用するときにはL端子のみをご使用ください。



OUTPUT 端子

アンプやモニター・スピーカーにつなぎます。

モノラルで使用するときには OUTPUT L 端子のみをご使用ください。ステレオで入力した音もモノラルで出力されます。

OUTPUT L 端子は、電源スイッチも兼ねています。OUTPUT L 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。RC-30 を使用しないときは、プラグを抜いてください。



FOOT SW 端子

別売のフット・スイッチ (FS-5U、FS-6)をつなぐと、フレーズやトラックの切り替え、LOOP FX のオン/オフの切り替えができます(P.16)。



MIC IN 端子

マイクをつなぎます。

[PHANTOM] スイッチの設定

コンデンサー・マイクの場合「ON」に、ダイナミック・マイクの場合「OFF」に設定します。



※ 通常は「OFF」に設定します。

マイクのレベル調節

マイクに向かって最も大きな声で歌ったときに、PEAK ランプがときどき点灯するようにするように、[INPUT LEVEL] つまみを調節してください。



ご注意!

- ※ 他の機器とつなぐときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってください。
- ※ ケーブルの抜き差しは、必ずアンプのボリュームを下げた状態で行ってください。
- ※ 抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。抵抗入りのケーブルを使用すると、AUX IN 端子につないだ機器などの音が極端に小さくなったり、まったく聞こえなくなったりする場合があります。
- ※ OUTPUT 端子にヘッドホンをつながないでください。ヘッドホンを破壊する恐れがあります。

電源を入れる

OUTPUT L 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。

正しくつないだら、必ず次の手順で操作してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

電源を入れるとき	ギター・アンプなどの電源を 最後に入れて ください。
電源を切るとき	ギター・アンプなどの電源を 最初に切っ てください。

※ この機器は回路保護のため、電源をオンしてからしばらくは動作しません。

電源を切るときの注意

以下の状態では絶対に電源を切らないでください (OUTPUT L 端子からプラグを抜かないでください)。保存しているデータがすべて失われることがあります。

- REC または PLAY ランプが点灯している (録音/再生/オーバーダビング中)
- PLAY ランプが高速点滅している (フレーズ・メモリーの読み込み中、本体メモリーの操作中)

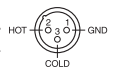
マイク使用時の注意

- ※ マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音 (キーンという音) が出ることがあります。その場合は、以下のように対処してください。
 - マイクの向きを変える
 - マイクをスピーカーから遠ざける
 - 音量を下げる
- ※ マイクとアンプが近づいていると、アンプからの再生音をマイクが拾うことがあります。このような状態で録音やオーバーダビングを行うと、マイクが拾ったアンプの再生音も記録されま

す。アンプとマイクを離すなどして、マイクがアンプからの再生音を拾わないようにしてください。

- ※ ファンタム電源供給に必要なコンデンサー・マイクをつないだとき以外は、ファンタム電源を必ずオフにしてください。ダイナミック・マイクやオーディオ再生装置などにファンタム電源を供給すると故障の原因になります。マイクの仕様については、お使いのマイクの取扱説明書をお読みください。(本機のファンタム電源: DC 48V、10mA Max)

- ※ 本機はバランス (XLR) タイプの端子を装備しており、図のように配線されています。つなぐ機器の配線をご確認のうえ、つないでください。




基本操作

録音／オーバーダビング／再生は図のように左ペダルを踏んで切り替えます。

フレーズ・メモリーを選ぶ

[▼] / [▲] ボタンを押してフレーズ・メモリー (1 ~ 99) を選びます。



表示	説明
番号のみ表示	空のフレーズ 左ペダルを踏むと録音スタート
右下にドット 	データがあるフレーズ 左ペダルを踏むとループ再生をスタート
番号と「αL」、 「Lo」または 「oo」が交互 に表示	ワン・ショット・フレーズ 左ペダルを踏むとワン・ショットに設定したトラックを一度だけ再生 (ループしません)

- 工場出荷時はフレーズ90～99にデモ・フレーズが入っています

録音

ギターやベースの演奏や、AUX IN 端子につないだオーディオ・プレーヤーの音を録音します。

- オート録音** (P.11) を使うと、演奏と同時に録音を開始します。
- リズム音**に合わせて録音することもできます (P.12)。

「録音」と「オーバーダビング」

本書では、空のトラックへの最初の録音を「録音」、録音した音にさらに音を重ねる2周目以降の録音を「オーバーダビング」と呼びます。

カレント・トラックを選ぶ

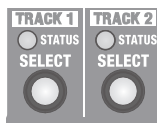
フレーズ・メモリーには2つのトラックがあり、現在選択されているトラックのことを「カレント・トラック」と呼びます。録音／オーバーダビングできるのはカレント・トラックのみです。オーバーダビング中にカレント・トラックを切り替えた場合は、再生状態に変わります。

※ 録音中はカレント・トラックを切り替えられません。

カレント・トラックは以下の方法で切り替えることができます。

TRACK 1 または TRACK 2 の [SELECT] ボタンを押す

押したトラックの [SELECT] ボタンが点灯してカレント・トラックになります。



右ペダルを2秒以上踏む

右ペダルを2秒以上踏むとカレント・トラックが切り替わります。



2つのトラックを同時にスタートする

データがあるフレーズで左ペダルを踏むと、カレント・トラックのみが再生スタートします。トラック1とトラック2のどちらにもデータがある場合は、停止中にトラック1、トラック2の [SELECT] ボタンを同時に押す (または右ペダルを使って何度かトラックを切り替える) ことで、2つのボタンが点灯します。この状態で再生をスタートすると、2つのトラックが同時にスタートします。スタート後はトラック1がカレント・トラックになります。

オーバーダビング

フレーズをループ再生しながら演奏を重ねて録音します。

左ペダルを踏むと再生に切り替わります。

- アンドゥ、リドゥ操作ができます (P.11)。

ループ再生

フレーズをループ再生します。

左ペダルを踏むとオーバーダビングに切り替わります。

- フレーズ再生中に [▼] / [▲] ボタンを押すと、フレーズ・メモリー番号が点滅して次のフレーズを選ぶ**メモリー・シフト**操作ができます (P.16)。

停止

どのタイミングからでも、右ペダルを踏むとカレント・トラックが停止します。

- 2つのトラックを同時に停止したい場合は、右ペダルを連続して2回踏みます。

ワン・ショット再生

ワン・ショットに設定したトラックを一度だけ再生します。

『フレーズの再生/停止方法の設定(ストップ・モード/ワン・ショット再生)』(P.10) をご覧ください。

表示	トラック 1	トラック 2
oL	ワン・ショット	ループ
L o	ループ	ワン・ショット
oo	ワン・ショット	ワン・ショット

ご注意!

- ※ フレーズ・メモリーの読み込み中は PLAY (緑) ランプが高速点滅します。PLAY ランプ高速点滅中は絶対に電源を切らないでください。
- ※ ループ・フレーズの最小録音時間は約 1.5 秒です。録音開始から約 1.5 秒以内にペダルを踏んだ場合は、約 1.5 秒以上になるまで録音されます。
- ※ ループ・フレーズの最大録音時間は約 3 時間 (全フレーズ合計) です。最大録音時間を超えると、本体メモリー不足のためディスプレイに「FL」と表示され、録音やオーバーダビングが途中で終了してしまふことがあります。このような場合は不要なフレーズを消去 (P.10) してから、操作をやり直してください。
- ※ フレーズを保存する前にメモリー・シフトすると、メモリー・シフト後にそのフレーズは消えてしまいます。フレーズの保存については P.10 をご覧ください。



フレーズを保存する

録音／オーバーダビングを終えた後に、別のフレーズ・メモリーを選んだり電源を切ったりすると、録音したフレーズは消えてしまいます。大事なフレーズは保存しましょう。

1. 停止しているときに、[WRITE] ボタンを押します。
ディスプレイに「[w] (wr) と表示されます。
2. [▼] / [▲] ボタンを押して保存先のフレーズ・メモリーを選びます。

現在選んでいるフレーズに保存する場合は、この手順は不要です。

すでにフレーズが保存されているフレーズ・メモリーは選ぶことができません。

最大録音時間は全フレーズ(保存していないフレーズを含む)の合計で約3時間です。メモリーの不足でフレーズが保存できない場合は、ディスプレイに「[Fl]」とフレーズ・メモリー番号が交互に表示されます。このような場合は不要なフレーズを消去(P.10)してから、操作をやり直してください。

3. もう一度 [WRITE] ボタンを押すとフレーズが保存されます。

保存を中止するときは、[WRITE]、[▼]、[▲]以外のボタンを押すか、ペダルを踏んでください。

保存中はディスプレイの番号と、PLAY ランプが高速点滅します。

ご注意!

- ※ PLAY ランプ高速点滅中は絶対に電源を切らないでください。保存しているデータがすべて失われることがあります。
- ※ 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。大切な記憶内容は「パソコンにバックアップする」(P.15)の手順でバックアップしてください。
- ※ 修理の際には、記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。
- ※ 本体メモリーの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

フレーズを消去する

※ この機器には、デモ・フレーズ (90～99) が収録されています。一度消去してしまうと元に戻すことはできません。最初に「パソコンにバックアップする」(P.15)の手順でバックアップしてください。

1. [▼] / [▲] ボタンを押して消去するフレーズ・メモリーを選びます。
2. 停止しているときに、[DELETE] ボタンを押します。
ディスプレイに「[dL]」と表示されます。
※ ここで消去するフレーズ・メモリーの番号を変更することはできません。
3. もう一度 [DELETE] ボタンを押すとフレーズが消去されます。

消去を中止するときは、[DELETE] 以外のボタンを押すか、ペダルを踏んでください。

消去中はディスプレイの番号と、PLAY ランプが高速点滅します。

※ PLAY ランプ高速点滅中は絶対に電源を切らないでください。保存しているデータがすべて失われることがあります。

フレーズの再生／停止方法の設定 (ストップ・モード／ワン・ショット再生)

フレーズの再生／停止方法を設定します。

※ 保存していないフレーズ (録音後やテンポ変更後) のストップ・モードは変更できません。

1. 設定を変更するトラックの [SELECT] ボタンを 2 秒以上押します。
ディスプレイに現在選ばれているストップ・モードの値が表示されます。
2. [▼] / [▲] ボタンを押してストップ・モードを選びます。

表示	再生	停止	説明
LP	ループ再生	すぐに停止	通常のループ再生です (初期値)。

表示	再生	停止	説明
o5	ワン・ショット再生	すぐに停止	フレーズの先頭から最後までを1度だけ再生して、自動的に停止します。 ※ ワン・ショット再生ではオーバーダビングはできません。再生中に左ペダルを踏むと、フレーズの先頭から再び再生が開始されます(リトリガー再生)。
Fo	ループ再生	フェードアウトした後に停止	右ペダルを踏むと、停止効果がかかります。 • 停止するまでPLAYランプが点滅します。 • 停止するまでの間にもう一度右ペダルを踏むと、すぐに停止することができます。
LE	ループ再生	フレーズの最後まで再生した後に停止	※ 停止するまでの間はオーバーダビングできません。

3. [SELECT] ボタンを押して、通常状態に戻ります。

ストップ・モードの設定はフレーズの保存 (P.10) で記憶されます。

オーバーダビングを取り消す (アンドゥ／リドゥ／トラック・クリア)

左ペダルを2秒以上踏むことでアンドゥ／リドゥ、右ペダルを踏みながら左ペダルを踏むとトラック・クリアすることができます。

動作	表示	説明
アンドゥ	u	再生中／オーバーダビング中に左ペダルを2秒以上踏むと、録音、または最後のオーバーダビングを取り消します。
リドゥ	rE	取り消した音を復活させたい場合は、再生中にもう一度左ペダルを2秒以上踏みます。 ※ リドゥできるのは、オーバーダビングのみです。

動作	表示	説明
トラック・クリア	CL	トラック1、トラック2の両方が停止しているときに、右ペダルを踏みながら左ペダルを踏むとカレント・トラックのフレーズがクリアされます(クリアは一時的なもので、フレーズ・メモリーに保存してあるフレーズは消えません)。 ※ ペダルは右ペダル→左ペダルの順に踏んでください。

アンドゥ／リドゥ中はPLAY、RECランプが高速点滅します。クリア中はPLAYランプが高速点滅します。

オート録音／カウント・イン録音機能

「オート録音」はギターの演奏や、オーディオ・プレーヤーの再生と同時に録音を開始します。「カウント・イン録音」はリズム音を1小節再生してから録音を開始します。

1. [TAP TEMPO] ボタンを2秒以上押します。
ディスプレイに「no」と表示されます。
2. [▼] / [▲] ボタンを押して録音モードを選び、左ペダルを踏んで録音を開始します。

表示	モード	説明
no	通常録音	左ペダルを踏んだ瞬間、録音が始まります。
RL	オート録音	RECランプが高速点滅して録音待機状態になります。演奏を開始すると、RECランプが点灯し録音を開始します。
CL	カウント・イン録音	[RHYTHM ON/OFF] ボタンが点滅します。左ペダルを踏むとRECランプが高速点滅し、リズム音を1小節再生します(このとき右ペダルを踏むと停止します)。1小節の再生が終わると録音が始まります(リズム音は録音開始後も鳴り続けます)。 リズムの設定について詳しくは「リズムについて」(P.12)をご覧ください。

録音モードは、電源を切ると通常録音にリセットされます。

リズムについて

リズム音を鳴らす

1. [RHYTHM ON/OFF] ボタンを押して、リズム音の再生/停止を切り替えます。
 - リズム音の音量は、[RHYTHM OUTPUT LEVEL] つまみで調整できます。
 - [TAP TEMPO] ボタンがリズムに合わせて点滅します (1 拍目: 赤色、2 拍目以降: 緑色)。
 - フレーズを保存 (P.10) すると、そのときに選ばれているリズム・タイプと拍子も記憶されます。

テンポを設定する

演奏を録音するときは、録音前にテンポの設定をしておくことができます。また、保存したフレーズを再生させるときには、フレーズのピッチを変えずに再生テンポを変更することができます。

1. [▼] / [▲] ボタンを押してテンポを設定するフレーズ・メモリーを選びます。
2. 設定したいテンポに合わせて、[TAP TEMPO] ボタンを数回押します。

ボタンを押した間隔に対応してテンポが設定されます。

または、停止中に右ペダルを連続して踏んでも、テンポを設定することができます。

- 停止中の場合、テンポ設定後リズム ([RHYTHM ON/OFF] ボタン) がオンになります。
- ※ フレーズ・メモリーに保存されているフレーズのみテンポを変更することができます。録音やオーバーダビング直後のフレーズのテンポを変えたいときは、まずフレーズ・メモリーに保存 (P.10) してください。
- ※ テンポを変更する場合は、変化の割合に制限があります。
- ※ 最小録音時間 (約 1.5 秒) より短い時間でフレーズがループするようなテンポを設定することはできません。

テンポの設定はフレーズの保存 (P.10) で記憶されます。

リズム・タイプを設定する

1. [RHYTHM TYPE] ボタンを押します。

ディスプレイに「r0」～「r9」と表示され、リズム・タイプ設定モードになります。
2. [▼] / [▲] ボタンを押して、使用するリズム (r0～r9) を選びます。
3. [RHYTHM TYPE] ボタンを押して、通常状態に戻ります。

リズム・タイプ一覧

r0	Hi-Hat
r1	Kick & Hi-Hat
r2	Rock 1
r3	Rock 2
r4	Pop
r5	Funk
r6	Shuffle
r7	R & B
r8	Latin
r9	Percussion

拍子を設定する

録音前に拍子を設定しておくことができます。

※ 録音後に拍子を変更することはできません。

1. [RHYTHM TYPE] ボタンを 2 秒以上押します。

ディスプレイに「b4」または「b3」と表示され、拍子設定モードになります。

2. [▼] / [▲] ボタンを押して、拍子を選びます。

表示	説明
b4	4 / 4 拍子 (初期値)
b3	3 / 4 拍子

3. [RHYTHM TYPE] ボタンを押して、通常状態に戻ります。

リズム音をオンにして録音する場合

リズム音をオンにして録音する場合は、**録音開始のペダルを踏んだ瞬間に小節の頭から録音が始まります。**

「カウント・イン録音」機能 (P.11) を使うとリズム音を 1 小節再生してから録音を開始することができます。

録音終了のペダルを踏むタイミングにかかわらず、フレーズの長さを小節単位に自動的に補正します。

リズム音をオフにして録音する場合

リズム音をオフにして録音する場合は、録音終了後にフレーズのテンポが自動設定されます。

テンポの自動設定では、「設定した拍子 (P.13) で、1、2、4、8、16…小節」を録音したと仮定してテンポを換算しています。

LOOP FX を使う

再生するフレーズにエフェクトをかけることができます。エフェクトはフレーズのテンポに合わせた効果がかけられます。

- ※ 録音する音にエフェクトをかけることはできません（かけ録りはできません）。
- ※ エフェクトはトラック 1 と 2 の両方にかかります。

LOOP FXをオン／オフする

1. [LOOP FX ON/OFF] ボタンを押して、LOOP FX のオン／オフを切り替えます。

停止中／再生中は左ペダルを 2 回連続で踏むことで、LOOP FX のオン／オフを切り替えることができます。

LOOP FXタイプを設定する

1. [LOOP FX TYPE] ボタンを押して、LOOP FX タイプを選びます。

LOOP FX タイプ	説明
BEND DOWN	音程が急降下する効果です。
STEP PHASER	階段状に変化するフェイザーです。
SWEEP FILTER	効果の周波数がテンポに同期して変化するフィルターです。
TEMPO DELAY	テンポに同期したディレイ効果が得られます。
Lo-Fi	意図的に音質を劣化させて、独特な雰囲気を作り出します。

USB でパソコンにつなぐ

市販の USB ケーブルでパソコンにつないで、RC-30 のフレーズ（WAV ファイル）をパソコンにバックアップしたり、パソコンの WAV ファイルを RC-30 に書き込んだりすることができます。

再生可能な WAV ファイルのフォーマット

データ形式	WAV データ
ビット数	16 ビット・リニア、ステレオ
サンプリング・レート	44.1kHz

WAV ファイルの最大サイズは 1.7GB（全ファイル合計）、最大時間は約 3 時間（全フレーズ合計）、最小時間は約 1.5 秒です。

1. RC-30 の電源をオンにします（OUTPUT L 端子にプラグを差し込みます）。

※ RC-30 は USB バス電源では動作しません。USB 接続中に電源が切れないよう、AC アダプター（別売）の使用をお勧めします。

2. RC-30 の USB 端子とパソコンの USB 端子を市販の USB ケーブル（USB2.0 Hi-Speed 対応のもの）でつなぎます。

ディスプレイに「[n]」と表示されます。



- ※ 停止状態でないときや、保存していないフレーズがあるときは USB 接続できません。

3. 以下の手順でバックアップをします。

Windows の場合

マイコンピュータ (またはコンピュータ) 内の [BOSS_RC-30] (またはリムーバブルディスク) を開きます。

Mac OS の場合

デスクトップの [BOSS_RC-30] アイコンを開きます。

パソコンにバックアップする

BOSS_RC-30 ドライブの [ROLAND] フォルダごとパソコンにコピーします。

パソコンにバックアップしたデータを RC-30 に復元 (リカバリー) する場合

※ この操作をすると、現在 RC-30 に保存されているフレーズは消えてしまいます。まず最初にバックアップしてください。

BOSS_RC-30 ドライブの [ROLAND] フォルダを削除してから、パソコンにバックアップしてある [ROLAND] フォルダを BOSS_RC-30 ドライブにコピーします。

パソコンの WAV ファイルを個別に RC-30 のフレーズ・メモリーに書き込む場合

BOSS_RC-30 ドライブの [ROLAND] - [WAVE] フォルダの中にある [001_1]、[001_2] ~ [099_1]、[099_2] フォルダにパソコンの WAV ファイルを書き込みます ([FOXX_Y] フォルダの XX はフレーズ・メモリーの番号、Y はトラックの番号です)。

ご注意!

- ※ 復元 (リカバリー) するとき以外は、BOSS_RC-30 ドライブ内のフォルダは削除しないでください。
- ※ ファイル名には次の文字が使用できます (全角文字は使用できません)。
A ~ Z (アルファベット大文字)、0 ~ 9 (数字)、_ (アンダースコア)
- ※ 各フォルダに複数の WAV ファイルを置かないでください。また、すでにフォルダに WAV ファイルがある場合は、上書きしないでください。WAV ファイルは空のフォルダに書き込んでください。

4. コピーが終わったら、以下の手順で USB ドライブの取り出しをします。

Windows 7 の場合

画面右下の [] → [] アイコンから [RC-30 の取り出し] をクリックします。

Windows Vista / Windows XP の場合

画面右下の [] (XP は []) アイコンから [USB 大容量記憶装置 (または USB 大容量記憶装置デバイス) を安全に取り外します] をクリックします。

Mac OS の場合

[BOSS_RC-30] アイコンをゴミ箱 (「取り出し」アイコン) にドラッグします。

5. USB ケーブルをパソコンから抜きます。

USB ケーブルを抜くと、ディスプレイに [dC] と表示され、[RHYTHM ON/OFF] ボタンが点滅します。

6. [RHYTHM ON/OFF] ボタンを押して通常状態に戻ります。

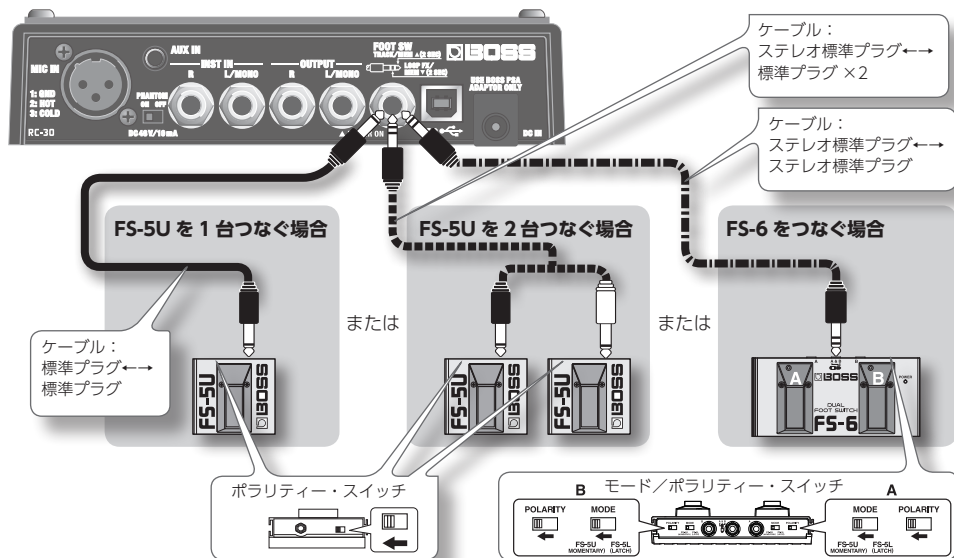
ディスプレイの [dC] 表示が消え、通常状態に戻ります。

ご注意!

- ※ ドライブ [BOSS_RC-30] は絶対にパソコンでフォーマットしないでください。RC-30 が正しく動作しなくなります。この場合は「本体メモリーをフォーマットする」(P.17) の手順で RC-30 をフォーマットしてください。
- ※ USB ドライブの取り出しをするまでは、絶対に以下の操作をしないでください。パソコンが応答しない状態になったり、RC-30 のデータがすべて失われたりすることがあります。
 - USB ケーブルを抜く。
 - パソコンをサスペンド (スタンバイ)、休止 (ハイバネーション)、再起動、終了する。
 - RC-30 の電源を切る。
- ※ 本体メモリーの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。

外部フット・スイッチをつなぐ

図のように FOOT SW 端子にフット・スイッチをつないで、ポラリティー・スイッチを設定します。



FS-5Uを1台つないだ場合

※ FS-5L は使用できません。

動作	説明
カレント・トラック切り替え	フット・スイッチを踏むと、カレント・トラックが切り替わります。
メモリー・シフト (アップ)	フット・スイッチを 2 秒以上踏むと、次のナンバーのフレーズ・メモリーに切り替わります。 再生中の場合は、ディスプレイにシフト先のフレーズ・メモリー番号が点滅表示され、再生中のフレーズの終わりで、フレーズ・メモリーが切り替わります。

※ フレーズを保存していない場合、メモリー・シフト後にそのフレーズは消えてしまいます。フレーズの保存については P.10 をご覧ください。

- フレーズの終わり付近でメモリー・シフトの操作をすると、シフト先のフレーズ・メモリーに切り替わらないことがあります。
- ▼ / ▲ ボタンを押しても、メモリー・シフトができます。

FS-5Uを2台、またはFS-6をつないだ場合

白いプラグ (ステレオ L 側) につないだ FS-5U または FS-6 の B ペダルを操作した場合

FS-5U を 1 個つないだ場合と同様の動作をします。

赤いプラグ (ステレオ R 側) につないだ FS-5U または FS-6 の A ペダルを操作した場合

動作	説明
LOOP FX オン/オフ	フット・スイッチを踏むと、LOOP FX のオン/オフが切り替わります。
メモリー・シフト (ダウン)	フット・スイッチを 2 秒以上踏むと、前のナンバーのフレーズ・メモリーに切り替わります。
LOOP FX TYPE 切り替え	FS-6 の B ペダル (ステレオ L 側の FS-5U) を踏みながら、2 秒以内に FS-6 の A ペダル (ステレオ R 側の FS-5U) を踏むと、LOOP FX TYPE が切り替わります。

その他の設定

スリープ・モードについて

RC-30 は最後の操作、または音声入力から停止状態のまま 10 時間経過すると、スリープ・モード（低消費電力状態：バイパス音のみ出力）になります。スリープ・モード中にペダル操作をすることで通常のモードに復帰することができます。

- ※ スリープ・モードでも電池を消費します。電池を消費させないためには、OUTPUT L 端子からプラグを抜き、電源を切ってください。
- ※ 保存していないフレーズがある場合、スリープ・モードにはなりません。

スリープ・モードに入らないようにする

1. 左ペダルを押しながら電源をオンにします（OUTPUT L 端子にプラグを差し込みます）。
2. そのまま 5 秒間左ペダルを押し続けます。
ディスプレイに「..」と点滅表示され、POWER ランプが点滅します。
3. 左ペダルを離すと通常状態に戻ります。

スリープ・モードを使用する（初期値）

1. 左ペダルを押しながら電源をオンにします（OUTPUT L 端子にプラグを差し込みます）。
2. ディスプレイが表示されてから 2 秒以内に、もう 2 回左ペダルを踏みます。
ディスプレイに「SL」と点滅表示され、POWER ランプが点滅します。
2 秒経過すると通常状態に戻り、スリープ・モードを使用するようになります。

録音→オーバーダビング→再生の切り替え順を変更する

RC-30 は左ペダルを踏むと、**録音→オーバーダビング→再生**の順（初期値）に切り替わりませんが（P.8）、**録音→再生→オーバーダビング**の順（RC-20XL 互換）に切り替わるように変更することもできます。

1. [TAP TEMPO] ボタンを押しながら電源をオンにします（OUTPUT L 端子にプラグを差し込みます）。
2. [▼] / [▲] ボタンを押してモードを選びます。

表示	説明
r ^d	録音→オーバーダビング→再生の順に切り替わります（初期値）。
r ^p	録音→再生→オーバーダビングの順に切り替わります（RC-20XL 互換）。

3. [TAP TEMPO] ボタンを押して通常状態に戻ります。

本体メモリーをフォーマットする

※ 本体メモリーをフォーマットすると、保存してあるすべてのフレーズ・メモリー（デモ・フレーズを含む）は消去され、元に戻すことはできません。本体メモリーのフォーマットは、ディスプレイに「Er」とエラー表示され RC-30 が正常動作しなくなったとき以外は行わないでください。

1. [WRITE] ボタンと [RHYTHM ON/OFF] ボタンを押しながら電源をオンにします（OUTPUT L 端子にプラグを差し込みます）。
ディスプレイに「Fn」と表示されます。
2. もう一度 [RHYTHM ON/OFF] ボタンを押します。
ディスプレイの「Fn」が点滅します。
3. [WRITE] ボタンを押し、本体メモリーのフォーマットを開始します。

ディスプレイの「Fn」が高速点滅します。終了すると、通常状態に戻ります。

※ 高速点滅中は絶対に電源を切らないでください。

本体ペダルの操作を簡単にする

外部フット・ペダル接続時など、本体ペダルで基本的な操作だけを行いたい場合、ペダルの動作モードを切り替えることができます。これにより、左ペダルでの「LOOP FX のオン/オフ切り替え」と、右ペダルでの「カレント・トラック切り替え」を行わないようにして、操作を簡単にすることができます。

1. [LOOP FX ON / OFF] ボタンを押しながら電源をオンにします (OUTPUT L 端子にプラグを差し込みます)。
2. [▼] / [▲] ボタンを押してモードを選びます。

表示	左ペダルの動作	右ペダルの動作
LC (初期値)	停止中/再生中に左ペダルを 2 回連続で踏むと、LOOP FX のオン/オフが切り替わります。	右ペダルを 2 秒以上踏むと、カレント・トラックが切り替わります。 右ペダルを踏んでいる時間が 2 秒以内の場合は、右ペダルから足を離れたときに停止 (STOP) 動作します。
--	左ペダルで LOOP FX のオン/オフを切り替えないようにします。 左ペダルを連続して踏んでしまったときに、意図せずに LOOP FX がオン/オフされるのを防ぐことができます。	右ペダルでカレント・トラックを切り替えないようにします。 この場合、右ペダルを踏んだ瞬間に停止 (STOP) 動作しますので、より素早い操作ができます。

3. [LOOP FX ON / OFF] ボタンを押して通常状態に戻ります。

トラブル・シューティング

問題	解決方法
右ペダルを踏んでも、すぐに録音が終了しない	リズムをオンにしているときや、最小録音時間 (約 1.5 秒) より短いフレーズを録音したときは、フレーズの長さを自動調節するため、右ペダルを踏んでもすぐに録音が終了しないことがあります。
オート録音モードにしているのに、録音がすぐに始まってしまふ	ディストーションなどによりノイズが多くなっている場合は、そのノイズにより録音が始まってしまうことがあります。ディストーションのレベルを下げるなどして、ノイズを小さくしてください。
再生テンポが変わらない	次の場合は、再生テンポを変更することができません。 <ul style="list-style-type: none">• フレーズが保存されていない。• フレーズの切り替え中 (PLAY ランプ高速点滅)。• 最小録音時間 (約 1.5 秒) より短い時間でフレーズがループするようなテンポを設定しようとしている。

エラー・メッセージ一覧

表示	意味	解決方法	ページ
b _t	電池が消耗しています。	電池を交換してください。	P.3
F _L	メモリーがいっぱいです。	不要なフレーズを消去してください。	P.10
U _F	再生不可能な WAV ファイルです。	WAV ファイルのフォーマットを確認してください。	P.14
E _F	これ以上オーバーダビングができません。	フレーズを保存しなおしてください。	P.10
E _r	本体メモリーのフォーマットが必要です。	本体メモリーをフォーマットしてください。	P.17
d _n	本体に異常が発生しました。	お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご連絡ください。	

その他の画面表示一覧

表示	説明	ページ	表示	説明	ページ
1 ~ 99	フレーズ・メモリー番号	P.8	b _r	フレーズの保存	P.10
. (ドット)	データのあるフレーズ・メモリー		d _L	フレーズの消去	P.10
a _L	トラック 1 のみワンショット・フレーズ	P.9	no	通常録音	P.11
L _o	トラック 2 のみワンショット・フレーズ		R _U	オート録音	
oo	トラック 1、2 がワンショット・フレーズ	C _t	カウント・イン録音		
L _P	ループ再生	P.10	r _B ~ r _G	リズム・タイプ	P.12
a _S	ワン・ショット再生		b ₃ ~ b ₄	拍子	P.13
F _o	フェード・アウトした後に停止	P.11	C _n	USB 接続中	P.14
L _E	フレーズの最後まで再生した後に停止		d _C	USB 切断	
U _n	アンドゥ	P.17	S _L	スリープ・モード有効	P.17
r _E	リドゥ		--	スリープ・モード無効	
C _L	トラック・クリア		r _d	録音／オーバーダビング／再生の順に切り替え	P.17
		r _P	録音／再生／オーバーダビングの順に切り替え		
			F _n	本体メモリーのフォーマット	P.17

主な仕様

ボス RC-30 DUAL TRACK LOOPER : ループ・ステーション

規定入力レベル	MIC IN : -40dBu (可変) INST IN : -20dBu AUX IN : -10dBu
入力インピーダンス	MIC IN : 4k Ω INST IN : 1M Ω AUX IN : 22k Ω
規定出力レベル	-20dBu
出力インピーダンス	1k Ω
推奨負荷インピーダンス	10k Ω 以上
録音・再生	最大録音時間 : 約 3 時間 最大保存フレーズ数 : 99 フレーズ トラック数 : 2 データ形式 : WAV (44.1kHz, 16 ビット・リニア, ステレオ)
USB インターフェース	USB 2.0 / 1.1 マスストレージ・デバイス・クラス対応
接続端子	MIC IN 端子 (XLR タイプ / バランス / ファンタム電源 : DC 48V, 10mA Max) INST IN 端子 (L / MONO, R) (標準タイプ) AUX IN 端子 (ステレオ・ミニ・タイプ) OUTPUT 端子 (L / MONO, R) (標準タイプ) FOOT SW 端子 (TRS 標準タイプ) USB 端子 : USB B タイプ DC IN 端子 (DC9V)
電源	DC9V : アルカリ電池 (単 3 形) または マンガン電池 (単 3 形) \times 6、 AC アダプター (PSA-100 : 別売)

消費電流	最大 195mA (DC9V) アルカリ電池 (単 3 形) : 約 7.5 時間 マンガン電池 (単 3 形) : 約 1.5 時間 ※ 連続使用時の電池の寿命 (使用状態によって異なります)
外形寸法	173 (幅) \times 158 (奥行) \times 57 (高さ) mm
質量	1.2kg (電池含む)
付属品	取扱説明書 保証書 チラシ (安全上のご注意 / 使用上のご注意 / サービスの窓口) アルカリ電池 (単 3 形) \times 6 ※ 付属の電池は動作確認用です。電池の寿命は前記時間より短くなる場合があります。また、交換時にはアルカリ乾電池を推奨します。
別売品	AC アダプター : PSA-100 フット・スイッチ : FS-5U, FS-6, FS-7

※ 0dBu=0.775Vrms

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。



* 5 1 0 0 0 1 8 9 1 2 - 0 3 *